

あなたが障がいを持ったとき  
どうしますか？

どういう人生を歩むと思えますか？

今の医療制度はご存知ですか？  
リハビリ期間や入院期間に限りがあり  
ます。

リハビリをもうちょっとすれば  
動作が改善できたり  
家の準備ができたリ  
障害を受容できたり…

障がいというものを受容することは  
時間がかかります。

それはなってみないと、  
障がいを負ってみないと、  
わかりません。

口で言ってもわかりません。

身体障害者リハビリテーションセンター

以下、リハセンは、

障がいのためのものです。

附属病院では、障がいの者の方が  
入院や外来通院し、

日々、リハビリをされています。

自分のことは自分で少しでもできるよ  
うになればと、がんばっておられます。

医療保険制度でいう急性期・回復期を終  
えた方もおられます。

大勢の方が、日常生活動作が改善して  
おられます。

障がいをもった方々での

入院の共同生活や外来通院では、  
障がいを受容しやすいです。

これは一般病院では難しい事実です。  
同じ障がい・症状を理解し合える人が  
いるだけでも違います。

病院部門が障がいの者にとつて  
どれだけ大事かわかってくれますか？

障がいの最後の時。

附属病院が廃止になると行き場のない  
リハビリ難民が予測されます。

そんなリハセンを

京都市は廃止しようとしています。  
これも事実です。

赤字だから、リハセン廃止ですか？

京都市は、障がいの者に冷たい市ですか？  
そして、リハビリをがんばる障がいの者を  
応援しませんか？

みなさま、一緒に障がいの者に温かい京都  
市を造りませんか？

まずは、リハセン附属病院の廃止の撤廃  
をしましょう。

なして!?

まさか!?

つぶす気?

Why???

なぜ??

Really!?

京都市が今やろうとしていることは、  
『京都市身体障害者リハビリテーションセンター』を  
市民の財産を  
消滅させることです

署名にご協力ください

京都のリハビリを考える会

604-8162 京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町 637

第 41 長栄カーニープレイス四条烏丸 6F

京都府保険医協会気付 Tel. 075-212-8877

Fax 075-212-0707 e-mail info@hokeni.jp

私たちは、市リハセンの解体を許さず  
市民のリハビリテーションを公的に保証するよう  
その機能拡充を求め、  
「京都のリハビリを考える会」を結成し、  
まずは附属病院を守るべく、市民署名に取り組んでいます。